



広島県地方検察庁

経済情報学科

角田 和暉

出身校：
広島県立大門高等学校

私は大学3年生の5月から公務員予備校に通い始め、公務員試験対策を始めました。公務員試験の筆記試験は出題科目数が多いため、勉強時間を十分に確保し、スケジュールを立てて効率よく勉強することが重要です。メリハリをつけて勉強するため、私は大学や公務員予備校の自習室を積極的に利用していました。

そしてどの試験を受けても必ず最後には面接試験があります。筆記試験には正解肢がありますが、面接試験に正解はありません。自分自身を客観視し、自分についての理解を深めることが必要になってきます。普段の大学生活の中から積極的に周囲の人たちとの交流を重ねていけば、他の人にはない自分だけの魅力に気が付くと思います。

公務員試験に限らず、就職活動は不安や緊張が常に付きまとい、焦る気持ちもあるとは思いますが、等身大の自分の良さを発揮できれば、必ずいい結果が出ると思います。自分の将来について真剣に考え、後悔のない就職活動にして下さい。



独立行政法人情報処理推進機構

経済情報学科

戸谷 将士

出身校：
岐阜県立海津明誠高等学校

私が就職活動を通して最も大事だと感じたことは「準備」です。「就職活動」と聞くと不安に思う方は少なくないと思います。就職活動では、様々な試験を通して企業に自分を売り込むことになります。自信を持って売り込んだ方が企業の方にも響くはずですが、しかしその自信を持つためには、それ相応のその企業にあった準備をする必要があります。実際私も就職活動を始めた当初は不安な気持ちでいっぱいでした。その気持ちを払拭するために早いうちから準備に取り組みました。特に面接は様々な問いを想定し、暗記する勢いで練習しました。どの対策にしても早いうちから取り組み、満点を取るくらいの意気込みで取り組みました。その結果、本番の試験では自信を持って臨むことができ、内定を得ることが出来ました。不安な気持ちはみんな同じです。そこでどう自信を持てるように頑張るかが重要だと思います。

また、他の人に頼るのも一つの手だと思います。私は、面接や履歴書、将来などについて、何度もキャリアサポートセンターに伺い相談にのってもらいました。一人で抱え込むよりも、誰かに相談した方が、自分の知らなかったような情報を得ることが出来たり、自信にもつなげることが出来ます。

最後に、就職活動は普段出会えないような企業に出会えるかもしれない貴重な機会です。自分はこの業界、この職種だと決めつけず、色々なところに足を運んでみてください。もしかしたら面白いと感じたり、働いてみたいと思えるような企業に出会えるかもしれません。

普段出来ない良い経験だと考え楽しみながら頑張ってください。



公益財団法人福武財団

日本文学科

加藤 未宙

出身校：
愛媛県立今治北高等学校

就職活動を終え、重要なことは、「1人で抱え込まない」ことだと思っています。

SPI対策、自己分析など、自分なりに頑張ったつもりでした。しかし、結果が全く出ず、もう私は、どこにも就職できないのでは、と思うようになってしまいました。

この時、1人で抱え込まず、キャリアサポートセンターで相談したり、家族や友人に話を聞いてもらったおかげで、内定を得ることができたと考えています。就職活動は、自分から動かないと始まりません。ですが、行き詰ったりしたときは、頼ることも必要です。エントリーシートや面接は、自分をアピールする部分です。「自分がどう見られているか」を客観的に評価してもらうことをおすすめします。特に、面接は回数分だけ慣れてきます。

そして、「本当に関わりたい仕事」を決め手に、最終的な内定先を決めました。かなり悩みましたが、「自分のやりたいこと」を第一に考え、美術館に関わる仕事を選びました。

就職活動は十人十色。自分を卑下する必要はありません。自分のペースで、しっかり納得して終われるよう、応援しています。



金井大道具株式会社

美術学科

浅居 ねいろ

出身校：
香川県立高松工芸高等学校

私は高校時代から舞台美術に憧れを持っており、この度内定をいただいた金井大道具株式会社もその頃から思い続けていた会社です。高校と大学で学んだ日本画の技術や感性を生かして働きたいという気持ちが高まり、3年の夏に、この会社に直接コンタクトをとってインターンシップに参加させていただきました。松羽目という歌舞伎等で使用される背景画の縮尺版を描くなどの体験を通じて、この仕事のやりがいを感じるとともに、現場で即戦力になれるほどの知識や技術が身につけていないことを実感しました。しかし、社員の方から「わからないことは素直に質問し、学びたいと思っている人と一緒に働きたい」と教えていただき、実際の就職活動では、率直に自分の思いを伝えることを大事にして選考に臨みました。

金井大道具ではエントリーシートの志望動機で、A4用紙に約40行の文章が求められます。付け焼刃ではなく、この会社で働きたいという思いの強さを伝えられたからこそ、夢の実現に近づくことができたのだと思います。